

# ご近所のお医者さん

677

加納内科院長

加納康至さん

—大阪市北区

## 心不全とさまざまな症状

「心不全」にはどのようなイメージをお持ちでしょうか。聞いたことはあっても、漠然としている方が多いようです。日本循環器学会と日本心不全学会は2017年、「心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起

り、だんだん悪くなり、生命を縮める病

気」と定義しました。

心臓は、収縮と拡張を繰り返して全身に血液を送り出します。心不全は十分に心臓が収縮できない「収縮不全」や、拡張できない「拡張不全」が原因

となり、血液を送り出すポンプ機能が低下します。そのため、血流が滞る「うっ血症状」や、心臓から送り出される血液量が低下する「低拍出量症状」などが起こります。

うっ血症状の代表的な症状は「息切

## 見逃さずに受診を

われた方も  
いらっしや  
るかもしれ  
ませんが、

れ」です。そのほか、横になるより座っている方が楽▽体重増加▽むくみ—などがあります。低拍出量症状は、全身倦怠感▽疲れやすい▽食欲不振▽尿量減少▽四肢の冷感—などがあります。

心臓の機能低下が進めば最終的に心不全になります。高齢の方は、一人一人異なります。高齢の方は、息切れをしなくても「年齢のせいかな」とそのままにしがちで、早期に発見することが難し

いこともあります。心不全の進行とともに体の機能が徐々に低下し、ある日呼吸困難などの強い症状が表れて、心不全と診断されることが多いです。

心不全の原因には、心筋梗塞や心臓弁膜症、不整脈、高血圧などが挙げられます。また、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病や肥満、喫煙も影響します。「もしや心不全予備軍では?」と思

心不全の予防に対しても、これらをきちんとコントロールすることが大事です。また、高齢の方は、いろいろな症状を年齢のせいとせず、お医者さんに相談して判断してもらいましょう。

完治は難しくても悪化を防ぎ、進行を遅らせることはできますので、適切な治療を受けてうまく付き合っていくことが重要です。気になる症状があれば、早めの受診をお勧めします。

(府医師会副会長)

